

## 麦の多収をめざして

～播種までの取り組み～

麦類の多収・高品質のためには適期に播種し、出芽率を良くして茎数を十分確保することが大事なポイントです。多収をめざすことで1等比率も向上します。

### 1. 排水対策の徹底

水田（転換畑）での栽培は湿害に注意します。特に出芽期の湿害は初期の生育を極度に悪くし、また登熟期（出穂から成熟まで）の湿害は子実の充実を不良にして収量・品質が低下します。暗渠の設置などで排水をよくして湿害を回避することが基本です。播種前には明渠を掘り、圃場表面の水を速やかに排水できるようにしましょう。

### 2. 土壌の改良など

- 1) 酸性土壌では収量は低下します。作土は pH(KCL) 5.5～6.0 になるように、苦土石灰または消石灰を施用して矯正しましょう。
- 2) 作土の有効態リン酸は、乾土 100 g あたり 10 mg 以上となるように、ようりんや苦土重焼りんなどの資材を施用しましょう。
- 3) 砕土が悪いと出芽不良になるので、2 cm 以内の土塊が 70% 以上になることを目標に、ていねいに耕うんしましょう。

### 3. 種子消毒

麦類で種子伝染する重要な病害として「なまぐさ黒穂病」、「裸黒穂病」、「斑葉病」、「条斑病」などがあります。発病すると大きな減収や品質低下を招くばかりでなく、販売が困難となる場合があります。播種前に種子の消毒が必要です。

表 1 麦類の主な種子消毒薬剤と処理法ならびに対象病害の例（令和8年10月14日現在）

| 薬剤名          | 処理方法               | なまぐさ黒穂病   | 裸黒穂病 | 斑葉病       | 条斑病 | 分類      |
|--------------|--------------------|-----------|------|-----------|-----|---------|
| トリフミン水和剤     | 種子重量の0.5%種子粉衣      | ○         | ○    | ○         |     | 3       |
| キヒゲンR-2フロアブル | 乾燥種子1kgあたり原液20ml塗抹 | ○<br>(小麦) |      | ○<br>(大麦) |     | M03     |
| ベンレートTコート    | 乾燥種子重量の0.5%種子粉衣    | ○         | ○    | ○         | ○   | 1 と M03 |
| ホームイ水和剤      | 種子重量の0.5～1.0%種子粉衣  | ○         |      | ○         |     | 1 と M03 |

1. キヒゲンR-2フロアブルにはハト、キジ、スズメに対する鳥害効果があります。
2. トリフミン水和剤は、はだか麦（キラリモチ）では薬害による出芽遅延が起きる可能性があるため使用を避けてください。
3. 分類欄にはFRACコードを記載しました（コードが2つは混合剤）。同一分類（コード）は作用点が同じなので連用は避けてください。

### 4. 基肥施肥量と播種量

適切な基肥施用と播種量により茎数と穂数を多くし、多収・高品質を目指します。六条大麦の播種量（表中の※）は、カシマムギは10aあたり8kgとしますが、カシマゴールは茎数が多く、穂数が多くなり小粒になりがちなので、6kgと少なめにします。

表 2 基肥施肥量と播種量の目安 (kg/10a)

| 麦種   | 窒素   | りん酸   | カリ   | 播種量   |
|------|------|-------|------|-------|
| 小麦   | 6～7  | 8～9   | 6～7  | 8     |
| 六条大麦 | 6～7  | 8～9   | 6～7  | 8(6)※ |
| 二条大麦 | 5～6  | 7～9   | 6～7  | 10    |
| はだか麦 | 8～10 | 11～12 | 8～10 | 8～10  |

注) 水田転換畑のドリル栽培の施肥量と播種量。畑ドリル栽培も同様だが、はだか麦は肥料の各成分とも少ない量とする。

### 5. 適期播種の徹底

六条大麦は11月上旬が、小麦、二条大麦、はだか麦は11月上～中旬が播種適期とされており、11月中に播種することが理想です。適期に播種されたものは、茎数が多く初期生育が旺盛となって穂数が多くなり、収量・品質が向上します。

最近温暖化の影響により、初期生育が過繁茂になりやすく、また出穂が早まるなどの傾向があり、播種期を遅くする試みも見られますが、遅くなりすぎると生育期間が短くて収量・品質が低下します。遅くする場合でも、できるだけ適期の幅で播種を行いましょう。初期生育が旺盛な場合は、麦踏みをしっかり行いましょう。

### 6. 適切な播種深度

播種深度 3 cm は出芽までの時間が早く、出芽率も高く、茎数と穂数が多くなり、多収になります。それに対して、深さ 5 cm 以上の深播きにすると出芽までの時間がかかり、出芽率が低くなります。また、茎数と穂数も少なくなり収量・品質が低下します。適切な播種深度になるように、毎年播種機の調整をしましょう。

- 農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用してください。
- 営農 News は J A 全農いばらきホームページでもご覧になれます。